

床暖房セーブモード搭載リモコン(低出力モード)について

■セーブモード※でエアコンと併用して省エネ

- ・「セーブモード」とは、床暖房とエアコンを併用することを想定した運転モードのことです。
 - ・セーブモードにより、床面や足元が温かい特徴はそのままに、部屋の空気はエアコンで暖めることで、快適性と省エネ性を両立させることができます。
 - ・床暖房の能力を抑えている為春先や秋口など、床暖房が温まり過ぎると感じる時にもおすすめです。
- ※エアコンとの通信連動は行っていないため、床暖房のセーブモード運転を行うと共に、エアコンの暖房運転を行う必要があります。
- ※セーブモードでは、床暖房の能力を抑えて運転しますので、通常運転に比べて床表面温度が低く感じる場合があります。

■WEBプログラムの改定

住宅の省エネルギー性能評価には「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム(以下、WEBプログラム)」が広く使用されています。2022年10月のWEBプログラム改定では、温水床暖房(ガス熱源に限る)とエアコンの併用運転時の一次エネルギー消費量の計算が可能となりました。Webプログラムの暖房設備入力時に温水床暖房の「低出力モード」にて、「評価する」を選択することができ、床暖房採用住戸の省エネ評価の改善が見込まれます。

算定方法は、エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)解説書 暖房設備4-7付録Qに基づきます。

■対応する床暖房マットにつきましては、リモコン購入先にお問い合わせください。

床暖房セーブモード搭載リモコン(低出力モード)について

エネルギー消費性能計算プログラムの温水床暖房の「低出力モード」にて、「評価する」を選択する場合、下記リストに掲載されているリモコンを使用していることをご確認ください。

版番	型式	商品名	セーブモードの有無	性能確認区分	認証マーク
1	FC-09DR-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-09DR-R60-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-09DR-RB-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-09DR-N30-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-09DR-N60-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-09DR-NB-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-R60-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-RB-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-N30-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-N60-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
1	FC-W09DR-NB-S	ガス温水式床暖房リモコン	有	—	—
2	MBC-302VCF-S	給湯器リモコン	有	—	—
2	MBC-302VF-S	給湯器リモコン	有	—	—
2	MBC-300VCF-S-FL	給湯器リモコン	有	—	—
2	MBC-300VCF-S	給湯器リモコン	有	—	—
2	MBC-300VF-S-FL	給湯器リモコン	有	—	—
2	MBC-300VF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-340VCF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-340VCF-S-FL	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-340VF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-340VF-S-FL	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-341VCF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-342VCF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MBC-342VF-S	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-331VC(A)S-B	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-331VC(A)S-W	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-332VC(A)S-B	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-332VC(A)S-B-FL	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-332VC(A)S-W	給湯器リモコン	有	—	—
3	MC-332VC(A)S-W-FL	給湯器リモコン	有	—	—
4	MBC-333VC(A)S-FL	給湯器リモコン	有	—	—

★上記リモコンは、エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)解説書 暖房設備4-7付録Qで規定された下記事項を満足します。

- 低出力モード制御時の行き温水温度が40℃のみの制御であること。
- 低出力モード制御時の温水供給運転率が、0.5を超えない制御であること。

※セーブモードでは、床暖房の能力を抑えて運転しますので、通常運転に比べて床表面温度が低く感じる場合があります。
※エアコンとの通信連動は行っていないため、床暖房のセーブモード運転を行うと共に、エアコンの暖房運転を行う必要があります。

住宅の省エネルギー性能評価には「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム(以下、WEBプログラム)」が広く使用されています。2022年10月のWEBプログラム改定では、温水床暖房(ガス熱源に限る)とエアコンの併用運転時の一次エネルギー消費量の計算が可能となりました。
Webプログラムの暖房設備入力時に、温水床暖房の「低出力モード」にて、「評価する」を選択することができ、床暖房採用住戸の省エネ評価の改善が見込まれます。
算定方法は、エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)解説書 暖房設備4-7付録Qに基づきます。

(給湯暖房機) 更新履歴

[illegible]